

鱒ヶ沢町中村川洪水ハザードマップ

避難時の8つの心得

いざという時、あわてず、冷静に

日頃から避難に必要なものを用意しておくとともに、避難の手順について家族で打ち合わせをしておく、いざという時あわてずに避難ができます。また、その時は、ラジオや広報車などからの情報を確認し、1人で行動せず、必ずグループで行動するようにしましょう。

- ① 安全な避難路の確認を
- ② 非常持ち出し品の事前準備を
- ③ 正確な情報収集と早めの行動を
- ④ 避難の呼びかけに注意を
- ⑤ お年寄りなどの避難に協力を
- ⑥ 動きやすい服装、2人以上での避難
- ⑦ 車での避難は控えて
- ⑧ 足下に注意

非常持ち出し品チェックリスト

必需品チェックリスト

- 非常食
- 飲料水
- 貴重品
- 救急セット
- 携帯ラジオ
- 懐中電灯
- ロウソク
- 衣類・下着類
- タオル
- ロープ
- ティッシュ
- ヘルメット
- 使い捨て食器
- 軍手
- 石鹸
- 粉ミルク・哺乳瓶・紙おむつ
- カッター
- 携帯袋
- 看護用品



災害時要援護者のために

- 高齢者・寝たきりの方のために**
 - 緊急時は、おびっぴ安全な場所まで避難する。
 - 複数の介護者で対応する。
 - 不安を取り除くように声をかける。
- 耳が不自由な方のために**
 - 話すときは、口の開け方をハッキリとし、相手にわかりやすいようにする。
 - 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。
- 目の不自由な方のために**
 - 災害時には、声をかけ、情報を伝える。
 - 誘導する場合には、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。
- 車イスをご利用の方のために**
 - 階段は、2人以上の協力が必要で、上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
 - 介護者が1人の場合、ひもなどを用い、おびっぴ避難する。

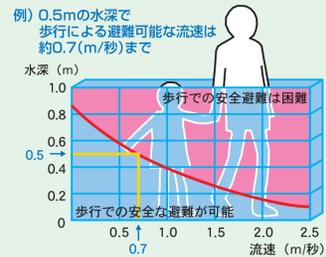
災害時要援護者の方々の災害から守るために、地域で協力し合いながら支援していきましょう。

危険箇所 アンダーパス(地下道)

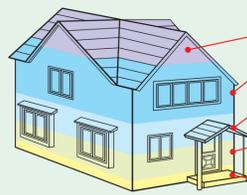
アンダーパスとは、道路や鉄道などが立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路を真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を頭に入れておきましょう。車が浸水した時、普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。



歩行者避難困難度



浸水深の色の見方



浸水深区分	被害状況
5.0m以上	2階屋根以上が水没
2m~5m未満	2階部分が水没
1m~2m未満	1階部分が水没
50cm~1m未満	避難が困難となる
50cm未満	床下が浸水

地図の記号

- 避難所
- 災害時要援護者施設 (福祉施設)
※災害時に手助けが必要な方がおられます。
- 災害時要援護者施設 (保育所・幼稚園等)
※災害時に手助けが必要な方がおられます。
- アンダーパス
※アンダーパスとは、道路及び鉄道などが立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 土石流危険渓流
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 防災行政無線
- 水位周知河川区間

お問い合わせ先



鱒ヶ沢町役場 総務課
〒038-2792 鱒ヶ沢町本町209-2
TEL0173-72-2111 FAX0173-72-2374

市街地拡大図

